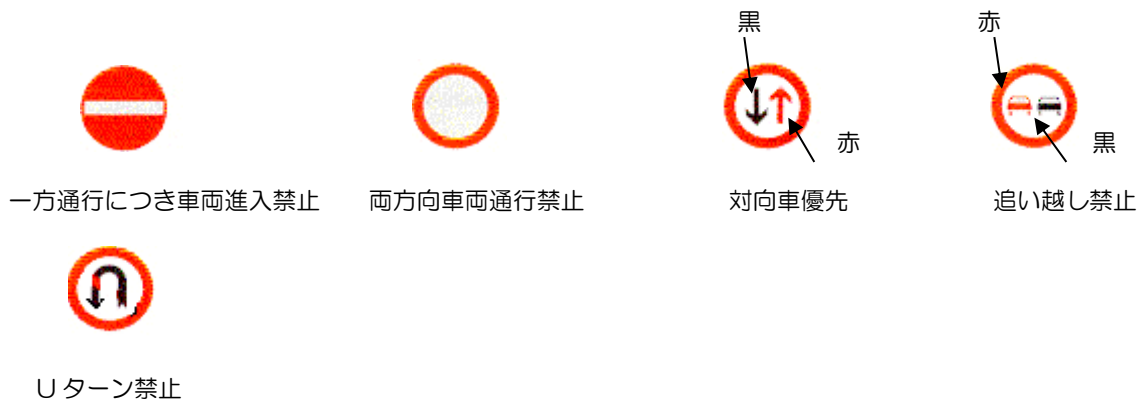


交通ルール

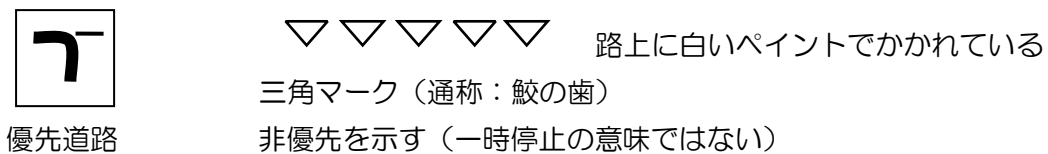
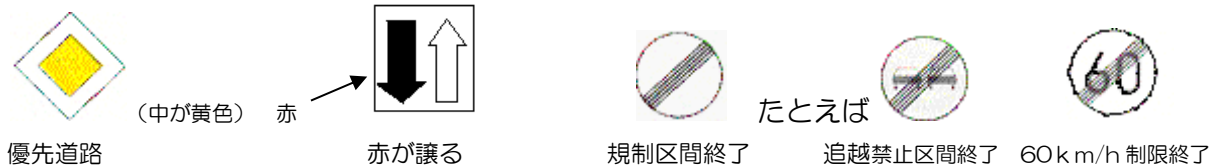
☆ 赤枠の三角標識は警戒標識



☆ 赤枠の丸標識は禁止標識



☆ 優先道路 右側優先：何の標識もない交差点は、自分の右手にいる車・自転車を優先。



☆ 運転の際に必ず携帯するもの

運転免許証、車両登録カード（2013年以前の車両は 車両登録証 Deel I A、Deel I B）
自動車保険の証書グリーンカード、事故報告書

※ オランダの免許に書き換えるまでは、日本の免許と国際免許を同時携帯すること。

☆ 高速道路の制限速度

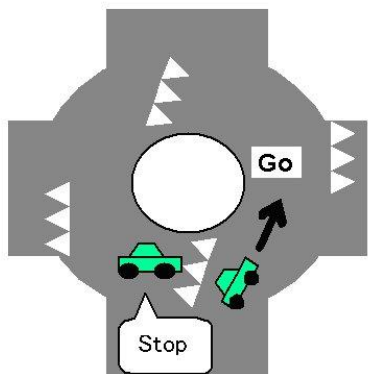
最高制限速度は 130km。但し場所により 120km、100km 等に制限される。

☆ **ロータリー** 2通りある。

パターン①：ロータリー内の車が優先である場合

パターン②：進入してくる車に優先権がある場合（最近はあまり見られません。）

※ Amstelveen の KeizerKarelweg と Mr.G.Groen van Prinstererlaan (Oranjebaan に変わる道)の交差点のロータリー内に突然三角マーク（鮫の歯）が出てくるので、そこでは右から来る車を優先させる。



☆ **シートベルト・チャイルドシート**

フロントシートもリアシートも着用が義務付けられている。不着用の場合、罰金が課せられる。同乗者のベルト不着用についても同様の罰金。検問もよく行っている。身長 135cm 未満の同乗者は、前後座席に関係なく、チャイルドシート着用義務がある。

★ **他の子供を同乗させる場合**

誕生日や試合の送り迎えなどの偶発的な状況、かつ50km以内の距離で、他の子供(3歳以上)を同乗させる時はチャイルドシート着用義務の例外とみなされシートベルトのみでもよいとされている。但し、自分の子供は偶発的な同乗とはみなされないので、必ずチャイルドシートに座らせなければならない。

★ **助手席に子供を乗せる場合**

ベビーシート：エアバッグのスイッチを切る。

チャイルド・ジュニアシート：エアバッグのスイッチを切るか、出来るだけ座席をずらす。

☆ **乗車人数の数え方**

赤ちゃん・子供も大人と同様に1人として数える。超過していると違反。

☆ **運転中の携帯電話**

交通違反。大変危険な為、多額の罰金が課せられる。

☆ 交差点内原則「右側優先」

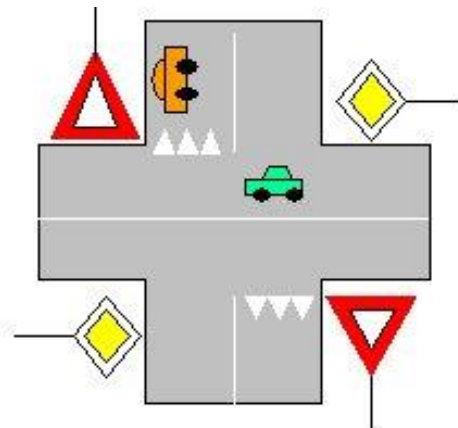
基本原則

交差した道路に 1) 標識がなく 2) 双方とも同じ高さ。

この2つの条件がそろった場合、右から来る車が優先 (住宅地や工業団地等に多い)



信号のある交差点には優先、非優先を示す標識が立っていて、信号が故障した際には、これにより優先車線が決まる。



住宅地の入り口等、道路に段差がある場合、高い方が停まる。



優先車両（パトカー・救急車・消防車）が最優先なので注意。
バス・トラムなどの公共交通機関も優先権を持っている。自転車にも注意。

☆ バス専用道

Amstelveen 内 3~4 箇所、この画像のようなバスしか進入してはいけない場所がある。一見進入できそうだが、普通乗用車では必ず車体の下が引っかかり、その場で動けなくなる。特に夜はわかりづらいので注意。



☆ 通行帯違反

2 車線以上ある道路では、できるだけ右側を走り、追い越しをする時のみ左側の車線を走行する。追い越しもしないのに左車線をゆっくり走っていると 185EUR の罰金。またそのゆっくり走っている車を右側から追い越すと 275EUR の罰金。



☆ 冬タイヤ

オランダでは義務化されていないが、ドイツでは、降雪時・冬の厳しい天候時には、冬タイヤの装着が法律で定められている。冬期にドイツへ行くときは、注意が必要。

☆ 環境ステッカーについて

都市を環境汚染から守るため、欧州の多くの都市で環境基準に合致していない車両の市内乗り入れを制限する傾向にある。これは環境ゾーン（Low Emission Zone=通称 LEZ）という。ほとんどの国がトラックにのみ規制しているのに対し、ドイツでは乗用車にも適用される。ドイツの環境ゾーン（UmweltZone）は事前に専用のステッカーを入手し、車両に貼っておく必要がある。国外に出る前には LEZ のサイト（www.lowemissionzone.eu）をチェックする。ドイツの環境ステッカーの詳細は D's International のサイト（www.dsint.nl）参照。



ドイツ環境ステッカー




ドイツ環境ゾーン

駐車について

☆ ブルーゾーン

駐車スペースにブルーの線が引いてある。専用のパーキングディスクを使用し、一定の時間のみ無料で駐車ができる場所。**駐車した時刻**にあわせ、ダッシュボードの上に、外から見えるように置く。駐車時間は場所により異なるので注意。



このカード  は、一度買うと無期限で使え、オランダ全国のブルーゾーンで通用。

※ ダンク周辺の駐車スペースがブルーゾーン。

☆ 居住者専用駐車区域 (Vergunning-houders) という標識がある。

市街地 (Amstelveen セントラム付近等) で、駐車許可書を所有している地域の居住者しか駐車できない場所。一般車は、この地域に駐車することが出来ず、この地域の居住者の家庭で持っている来訪者用カードを使用して駐車する。

☆ 身体障害者専用スペース



- ★ 身体障害者専用 (看板あるいは、白線が路面に書かれている)、または、医師専用の看板がある場所には駐車してはいけない。(違反すると罰金が課せられる。)
- ★ 金属の棒が立ててある場合は、個人あるいは団体の専用スペースであることを意味する。

☆ Parkeerautomaat (駐車券自動販売)

歩道の端に黄色や青の標識に白で **Parkeerautomaat** と書いてあれば、近くの自動販売機で、チケットを購入。ダッシュボードの上に、外から見えるように置く。場所によって異なるが、平日 (月~土 午前9時~午後7時) の間は、ほぼチケットが必要。時間が超過すると、駐車違反とみなされ罰金が課せられる。

Amsterdam の Joan Muyskenweg 近辺 (Makro のある辺りはキャッシュカード (PIN) を挿入するのですが、暗証番号を押さずに決済されるシステム

駐車券の買い方

★ プレートナンバー入カタイプ

- ① 画面右上にある Language ボタンを押し English を選ぶ。
- ② 画面右下の緑色のボタン Start button をタッチする。
- ③ 注意事項の画面が表れるので、右下の緑色のボタン Next をタッチする。

- ④ 車のナンバーを入力し、右下のボタン Next をタッチする。
- ⑤ どのような種類のチケットを選択するか選ぶ画面になるので、Hourly card をタッチする。
- ⑥ どのくらいの時間駐車するか、時間と分ボタンで設定する。
- ⑦ 時間を決めたら、右下の緑色の Next ボタンをタッチする。
- ⑧ 支払方法の画面になるので、方法を選びタッチする。
 <Credit card>カードを挿入し、暗証番号を入力しOK ボタンを押す。
 <Pin/debit card>カードを挿入し、暗証番号を入力しOK ボタンを押す。
 ※ 途中から違う方法で払うことはできない。
- ⑨ 駐車券が「いる」か「いない」かの画面になるので、どちらか選ぶ。
 ※ 駐車券をダッシュボードに置く必要はないが、「いる」にした場合は、トラブルの際に証明にもなるので手元に保管しておいたほうがよい。
- ⑩ 右下から駐車券が出てくる。

★ プレートナンバー入力不要タイプ

- ① 黄色のボタンがある場合、
A (keuzeA/時間払い)、B (keuzeB/一日払い) を決める。
- ② PIN カードを入れる。
- ③ keuzeA を選んだ場合、青いボタンを駐車しておきたい時刻まで押す。
- ④ 時刻と同時に金額が表示される。(10 セント、50 セント単位等)
- ⑤ 緑のボタンで決定。電子マネー残高から金額が引き落とされる。
- ⑥ Neem uw pas uit aub. (カードを抜き取って下さい) が表示されたらカードを抜き取る。
- ⑦ Ticket uit nemen. (チケットをお取り下さい) が表示され、駐車券が出てくる。
- ⑧ フロントガラスの見えるところにおく。ドアを閉めた時など飛ばないように注意。
(操作ミスなど、キャンセルは、赤いボタンを押す。)

★ 携帯電話を利用した駐車

近年増えてきた、券売機の上にある数字を携帯電話に入力して駐車できるシステム。

このシステムで便利なのは、小銭の持ち合わせが無くても困らない。それから駐車した時間のみの支払う事が出来るという点。通常有料駐車スペースでは、駐車予定時間よりも少し多めにお金を入れる事が多いので、このシステムを利用すると使用した時間だけ支払うことになり無駄がない。また予定よりも駐車時間が延びたとしても、駐車券を再度買いに行く必要がない。

駐車を開始したまま、終了の連絡を忘れた場合、駐車開始から数時間後にSMS (携帯メッセージ) で通知してくれるサービスも設定できる。

・ParkLine ・YellowBrick ・Parkmobile ・SMS Parking ・My Order ・Parkman ・Easy3377 などのサイトから申し込みができる。詳しくは、D' s internationalのホームページ (www.dsint.nl) のお客様のページに記載あり。

